



自治功労表彰をいただきました

平成25年10月22日、岡山県で開催された第146回全国都道府県議会議長会定例総会にて自治功労者として表彰され、11月定例議会初日に本郷議長より伝達いただきました。

平成15年に初当選し、10年間恙なく務めさせていただきましたことは、ひとえに皆様方のご支援

あつての賜物と心よりお礼申し上げます。

今後はこの表彰を心の支えとし、また糧として、表彰の栄誉に恥じることなく、皆様のご期待にお応えできるよう努力してまいりますので、より一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

県外視察報告

○日本の歴史、文化に根ざした教育の取組みについて …北海道斜里郡小清水町 町立小清水中学校…

小清水中学校では、長野藤夫校長自らが教壇に立ち、道徳の授業に当たっています。その内容は実にユニークで、例えばフランス・中国・アメリカ・イタリア等の外国の国歌の歌詞が戦闘的な内容であることと比較し、「君が代」はその原型が古今和歌集の祝歌であり、和歌という日本独特の伝統・文化に根ざしていることを教えています。20年前北海道に移り住んだ頃、学校行事の際、教師はもちろん、子どもも起立せず、国歌「君が代」を斉唱しない学校が多数を占めていたことに大変驚かれたということです。このままでは子どもたちが自分の国の歴史や伝統・文化を知らずして国に誇りの持てない社会人になってしまうことに危機感を覚え、管理職になった今も特別授業の形で続けています。また「小中連携道徳教育」として、保護者の授業参観も行っています。

教育の目的は「人格の完成」であり、教育基本法、改訂学習指導要領の精神、北海道教育の基本理念、及びオホーツクの教育の基本理念、小清水町の教育目標並びに小清水中学校の教育目標に向かって学校経営を行ってまいります。

「心の学校」をつくることを課題とし、儀礼的儀式においては厳粛な雰囲気の中で折り目をつけ、新しい生活への意欲を持たせるとともに、わが国の国旗・国歌を尊重する態度を育てる、と明確な方針を打ち出している、公立学校として当然であります。今時貴重な中学校であり、大いに参考となります。



12/12 小清水中学校 北海道道徳教育推進事 公開研修会

○エゾシカ等鳥獣被害の軽減と地域資源としての持続的活用、ハンターの育成、環境教育事業について …北海道紋別郡西興部村…

西興部村は、人口約1,100人、89%が山林であり、北海道の北部に位置しています。10年前まで鹿は生息していませんでした。現在は被害防止対策と共



10/16 西興部村役場にて管理組合の説明を受ける



クマも獲れました



10/17 解体肉処理施設見学

に、鹿を資源とした村づくりを行っています。

村全域が「鳥獣保護法」によって定められた「猟区」となり、入猟者・入猟日・捕獲対象鳥獣の種類・捕獲数などについて管理者が独自の管理をすることができます。(H16年開猟)

NPO法人西興部村猟区管理協会(大澤安廣会長、伊吾田順平事務局長)が指定管理者となり、

- ・入猟事業(ガイド付ハンティング)
- ・狩猟者教育事業(狩猟セミナー)
- ・環境教育事業(ワイルドライフ教室)
- ・調査研究事業(捕獲個体分析)

等々の事業を行っています。これにより地域への経済効果はおよそ1億円/年となり、一定の波及効果があります。(当村の年間予算はおよそ22億円)

エゾシカ捕獲数はH25年3月31日現在で951頭(報奨金1万円/頭)です。村では鳥獣被害防止対策協議会をH23年に設立し、電気柵の設置やハンター助成事業として狩猟免許取得経費の半額を補助しています。

今後、射撃場の建設や既存の解体肉処理施設の増改築を計画し、事業拡大を図っていきます。H24年に完成した残滓処理施設はエスパス菌を活用、減容処理し、威力を発揮しています。

村全体がエゾシカの被害を逆手に取り、地域資源として徹底的に活用している先駆的なモデル地区であり、大いに参考となります。

「県政ながの飯水支部」主催の県政出前講座開催

『誇りある地域づくりを目指して～移住・交流がもたらす地域振興への効果～』と題して、10月12日(土)に開催しました。200名もの皆様に参加いただき、【移住を取り巻く状況】【移住・交流がもたらす効果】【長野県の進める移住・交流】【県内市町村や他県の取組】【移住を実現するために】等について長野県観光部 移住・交流課長(飯山市出身)からお話をいただきました。質疑応答もあり、大変充実した講演会でした。外からのお客様(移住者も含めて)をお招きするには、まずここに住む私たちが自分の「ふるさと」に「誇り」をもつことから始まるのではないのでしょうか。そうすることにより、「良いところですよ、ぜひお出でください」と自信を持ってお勧めできると思います。頑張りましょう!



12月2日午前3時40分、建設中の新幹線飯山駅舎にて、試験走行列車イースト・アイ歓迎イベントが盛大に開催されました。待ちに待った瞬間でした。



12月25日、栄村中条橋の竣工・渡り初めが行われました。震災で痛んだ橋が大雪で落下し、この程新しく架けられました。また一步、復興に前進です。